

東京医療

東京医療生活協同組合の理念 「誠実」

東京医療生協職員の倫理綱領

1. 私たちは医療の質の向上に努め、人格教養を高めることによって、全人的医療を目指します。
2. 私たちは医療記録を適正に管理し、また知り得た内容を他にもりませぬ。
3. 私たちは病める人々の権利の擁護とプライバシーの保護に努めます。
4. 私たちは病院医療にかかわるあらゆる安全管理に最大の努力を払います。
5. 私たちは地域の人々により良い医療を提供するために、他の機関との積極的な連携を推進します。

発行人 理事長 入江 徹也 発行責任者 事務局長 森久保 豊

東京都中野区中央四丁目59番16号 TEL 03-3382-1231(代) 欄附 03-3382-9991

新渡戸記念中野総合病院ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp> E-mail: soumu@nakanosogo.or.jp

◆血液内科の外来がオープンしました



新渡戸記念中野総合病院 血液内科部長兼臨床研修担当部長 秋山 秀樹

このたび、新渡戸記念中野総合病院に血液内科の外来がオープンしました。まだ専門医師は一人ですが、今後の活動に注目です。

血液の病気は貧血や出血傾向といったもの以外には特別な症状はなく、糖尿病、高血圧などでおかかりの病院での検査で、偶然貧血や血小板減少を指摘される方も少なくありません。健康診断で異常が見つかる場合もよくあります。出血に伴う貧血（これにはガンが隠れていることもあるのですが）を除いて、血液の異常全般を取り扱う外来ということができます。

血液の異常？とはいってもGOT, GPT, クレアチニンなどといった「血液生化学検査」の異常ではなく、「血算」の異常を取り扱います。では「血算」とは何でしょう。血算も血液の検査の一部なのですが、やや小さめのチューブに血液を3mlほど採取されたことがあると思います。チューブに採血後、看護婦さんたちが急いでチューブを上下に振ってよく混ぜるようにしています。血算だけではないのですが、いずれも血液が固まらないような薬が初めからチューブに入っていますので、それと混ぜ合わせて血液が固まらないようにしています。



秋山 秀樹 部長

このチューブを使って、「血算」ではこの血液中に浮かんでいる「細胞成分」を検査しています。その数や種類も重要ですが、大きさ、異常な細胞がないかなど、検査項目はいろいろです。自動化も進んでいる現代の血液検査ですが、細胞の種類に関しては技師さんの目が頼りとなります。

「細胞成分」は、酸素を運ぶ「赤血球」、細菌などから体を守る「白血球」、そして出血したときに血管の穴をふさいで血をとめる「血小板」に大きく分けることができます。

血算での「異常」も、したがって、3種類の細胞成分の、数の異常、大きさの異常、種類の異常など、様々です。その原因もさまざまですが、近年では人口の高齢化に伴い、血液疾患のなかでも高齢者に頻度の高い疾患、骨髄

異形成症候群や多発性骨髄腫、並びに悪性リンパ腫などの頻度が高くなってきているようです。



こうした疾患に対し有効な薬剤が少なかったため、以前はあまり積極的な治療を行えませんでした。しかしながら、優れた治療薬が近年相次いで開発され、その治療の様も一変してきております。一方で、治療がより専門的となり、人員と設備を必要とするようになってまいりました。

今回、血液内科の外来をオープンするにあたり、残念ながら入院しての化学療法を積極的に行うにはまだ力不足ですので、必要と判断した場合には他院をご紹介させていただくこととなると思われます。しかしながら、将来的には化学療法も含めて、皆様のお役に立てるようになりたいと考えているところです。

<対応疾患>

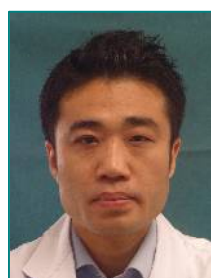
多血症、特発性血小板減少性紫斑病、鉄欠乏性貧血、悪性貧血、骨髄異形成症候群、慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、濾胞性悪性リンパ腫など、白血球数、血小板数の異常、分画の異常など。



4月1日付け採用の新任医師です



内科医長 小松 有



内科医長 佐藤 英彦



外科医長 馬場 裕信



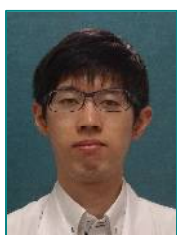
内科 野田 翔平



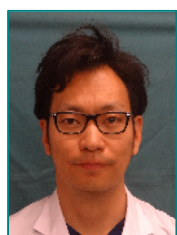
外科 入江 宇大



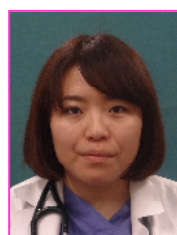
整形外科 小谷野 岳



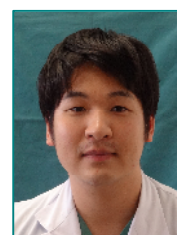
整形外科 久保田 礼



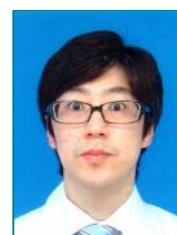
耳鼻咽喉科 河邊 浩明



神経内科 福島 明子



神経内科 谷口 俊太郎



神経内科 飯嶋 真秀

よろしくお願いたします

1年目臨床研修医



岩田 遼



大澤 真里奈



大野 元久



喬 博軒



高松 優光

新渡戸記念中野総合病院 第15回区民健康講座

新渡戸記念中野総合病院では、区民の皆様を対象としたわかりやすい健康講座を開催してまいりました。本年度も医師をはじめとした専門家が、様々な病気や治療について皆様のお知りになりたいこととお話しいたします。第15回目のテーマは、

「慢性腎臓病から身を守る方法」です。

どうぞ、奮ってご参加ください。

講師：新渡戸記念中野総合病院 腎臓内科部長 野田 裕美

日時：6月24日(土) 午後2時～3時

場所：東京都生協連会館(中野区中央5-41-18)

参加申し込み先：窓口：④総合受付

電話：地域医療連携室 TEL 3382-1231 (内線211)



5月の小児救急体制



新渡戸記念中野総合病院では、中野区並びに中野区医師会のご協力を得て、小児の初期(1次)救急として「**準夜間小児初期救急医療**」を救急外来で実施しています。

一般診療所の診察時間が終わった後、お子さんが急病の際には、下記の**夜間受付電話**にご連絡のうえご来院ください。15歳以下のお子さんを対象に、小児科医が診療を行います。**※血液検査、点滴等の処置、入院等を必要とする場合は他病院を紹介します。**

5月1日から31日までの、準夜間小児初期救急医療体制は下記の通りです。なお、都合により医師の変更もあり得ますので、ご了承ください。ご不明な点は、下記夜間受付にお問い合わせ願います。

5月準夜間小児初期救急担当医

受付時間：毎日午後**6時30分**～午後**9時45分**

診療時間：毎日午後**7時**～午後**10時**

夜間受付：03-3382-9991

日	月	火	水	木	金	土
	1 小須賀基通	2 細谷 直人	3 清水 泰岳	4 右田 王介	5 亀井 宏一	6 保崎 明
7 右田 王介	8 小須賀基通	9 高梨 栄	10 小池林太郎	11 木村 将裕	12 清水 泰岳	13 亀井 宏一
14 清水 泰岳	15 小須賀基通	16 廣瀬 和恵	17 多田 光	18 三輪 直子	19 右田 王介	20 清水 泰岳
21 右田 王介	22 小須賀基通	23 廣瀬 和恵	24 小池林太郎	25 木村 将裕	26 清水 泰岳	27 亀井 宏一
28 亀井 宏一	29 小須賀基通	30 細谷 直人	31 高木 英行			

新渡戸記念中野総合病院業務概況（平成29年3月）

	延患者数		手術件数		入院主要手術
	入院	外来	入院	外来	
内科	1,510	3,694	16	16	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(2cmを超える)、血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等；選択的動脈化学塞栓術)、内シャント設置術
精神神経科		861			
神経内科	1,201	1,069	6	1	中心静脈注射用植込型カテーテル設置、胃瘻造設術、経尿道的尿管ステント留置術
小児科		274			
外科	1,494	1,263	114	42	肝門部総管悪性腫瘍手術(血行再建あり)、腹腔鏡下直腸切除・切断術(低位前方切除術)、膵頭部腫瘍切除術(周辺臓器の合併切除を伴う主要切除術)
整形外科	1,352	2,822	69	46	人工関節置換術(股)、人工関節置換術(膝)、関節鏡下靭帯断裂形成手術(十字靭帯)
形成外科		101		10	
脳神経外科	208	406	2	6	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術
皮膚科	1	1,048		4	
泌尿器科	85	599	5		経尿道的前立腺手術、膀胱結石摘出術(経尿道的手術)、女子尿道脱手術
婦人科	44	519	10	1	腹腔鏡下子宮筋腫摘出(核出)術、子宮全摘術、子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(腹腔鏡)
眼科	47	758	20	10	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)
耳鼻咽喉科	127	943	7	14	耳下腺腫瘍摘出術(耳下腺浅葉摘出術)、内視鏡下鼻・副鼻腔手術2型(副鼻腔単洞手術)、口蓋扁桃手術(摘出)
放射線科		28			
合計	6,069	14,385	249	150	

新渡戸記念中野総合病院

患者さんの権利と責務

平成28年2月29日制定

1. いかなる差別もなく、公平で良質な医療を受けることができます。
2. ひとり人間として、その人格や価値観が尊重され、プライバシーが保護されます。
3. 分かりやすい言葉で、病状・診断・治療法・予後等について、説明を受けることができます。
4. 十分な説明と情報提供を受けたのち、セカンドオピニオンや治療法等を自らの意志で決めることができ、必要に応じて診療録の開示を求めることができます。
5. 臨床研究に参加するかどうか、自らの意志で決定することができます、いつでも参加を取り止めることができます。
6. 医療の充実と向上にむけて、医療提供者と力を合わせるとともに、医療人の育成にご協力ください。
7. ご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確に医療提供者に伝えてください。
8. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に支障を与えないようご配慮ください。

以上